

校長だより

福津市立福間東中学校

校長 猪股 清貴

平成 28 年 5 月 30 日 No12

算数から数学の世界へ！



左の写真は1年生のあるクラスの授業風景です。みんな一生懸命に問題を解いています。解いている問題は、 $(-18) \div 2 =$ というような、正の数と負の数の割り算（除法）です。小学校の算数では4年生までに整数についての四則計算【足し算（加法）・引き算（減法）・掛け算（乗法）・割り算（除法）】の意味や四則計算に関して成り立つ性質などを学習してきました。また、小数については5年生までに、分数については6年生までに学習を積んできています。

さて、中学校の数学ですが、中学校では扱う数の範囲が広がってきます。まずは、1年生で負の数（マイナスの世界）に数の範囲が拡張します。小学校の算数では整数と言うと0と正の整数を合わせたものでしたが、中学校の数学ではこれに負の整数を加え、整数を定義します。

体育祭を終え、ひとつ中学生として成長した1年生。授業に対する姿勢も以前より真剣さを増したようです。

教育実習生を迎え学習に取り組んでいます

右の真剣な学習の様子をご覧ください。3年生の社会科の授業の一風景です。先生から与えられた課題は「第1次世界大戦はどのような戦争で、なぜ日本は参戦したのだろうか？」です。まずは、教科書にある説明と資料を整理しながら、自分なりの考えをまとめていきます。今日は教育実習に来られている先生の初めての授業です。先生も緊張してあります。プリントに些細な間違いがありましたが、それを優しく指摘し、笑いでカバーしている3年生のあったかいクラスの雰囲気を感じ



しました。先生もこの日の授業のために一生懸命に準備してあります。パソコンのデータを何度も何度も作り直されたに違いありません。黒板に書かれる文字も丁寧に一文字一文字一生懸命に書いていらっしゃいました。そして、それを3年生の生徒たちはメモ欄に重要事項を記入しながら書き写していました。

ここでは、第一次世界大戦前後の国際情勢と我が国の動きを理解することが大切な学習内容です。「なぜそうなったのか?」「それには歴史的にどんな意味があるのか?」社会科を学習する醍醐味（だいごみ）ですね。